

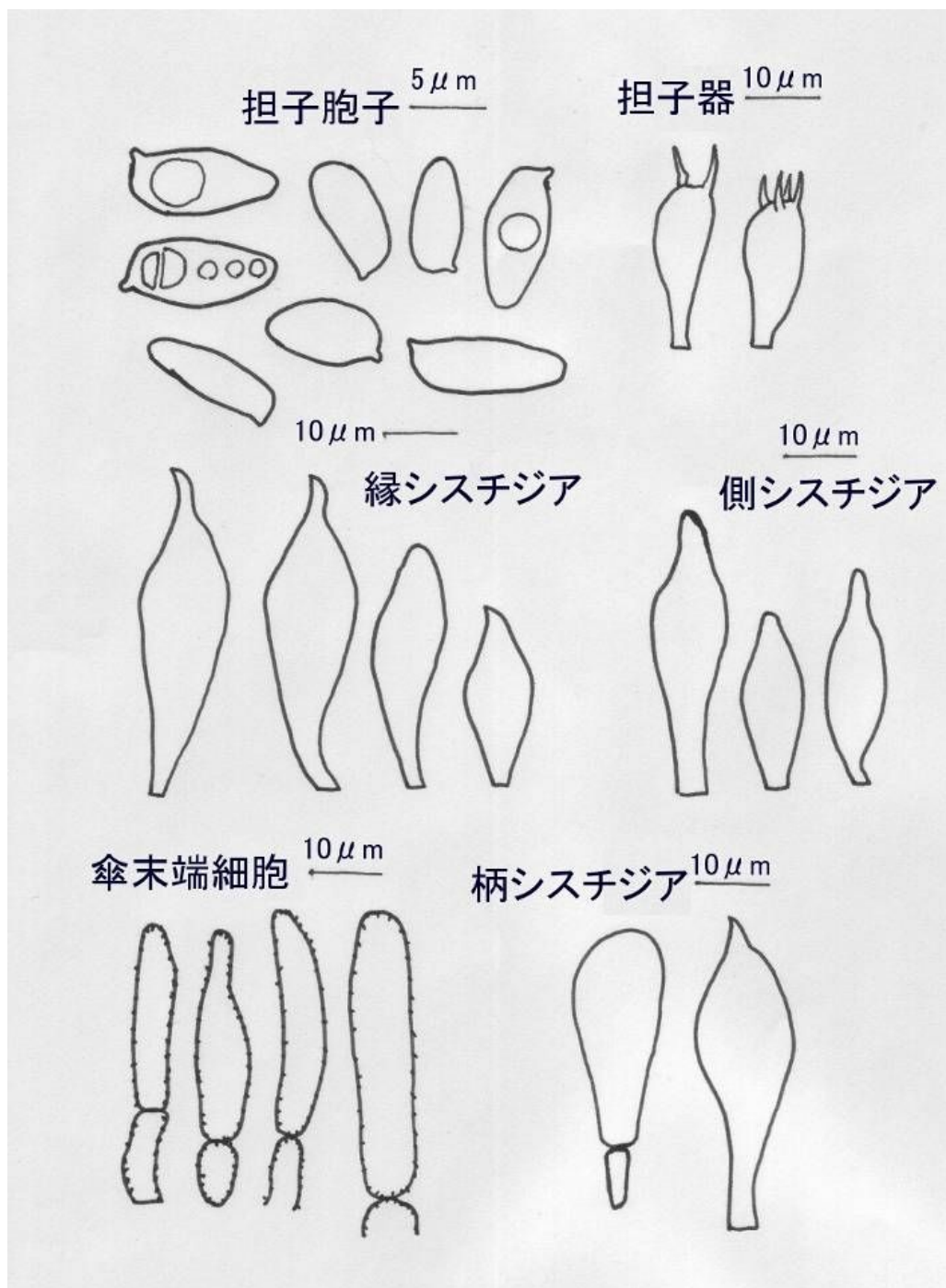
No. 0010

アシボソニガイグチ

*Tylopilus argillaceus* Hongo







●傘は径 1.5-4.2cm, 半球形～饅頭形～平開;表面は湿時弱い粘性があり,ビロード状,淡黄土色～黄土色,触ると焦茶色に変色する.

●柄は 3.0-5.0×0.5-1.1cm, 上下同径か上部は細く,中心性,中実;表面は網目はないが縦皺があり,下部で焦茶色～帯オリーブ焦茶色,上部ほど色は淡くなり,頂部では白色,基部には白い菌糸束がある.

●肉は厚さ 0.5-1.0cm, 傘・柄ともに白色,傘では切断するとわずかに淡紅色に変色し,ときに柄の一部にオリーブ色のしみがある;質は弾力があり丈夫,強い苦味があり,ニガイグチ属特有の臭いがする.

●管孔は直生し,幅 0.15-0.30cm;孔口は2個/mm;管孔・孔口ともに白色から淡紅色となる.

●孢子紋は淡紅色.

- 胞子は類紡錘形～楕円形, 大きさ  $8.0-11 \times 3.5-4.5 \mu\text{m}$ , Q 比 2.0-2.9; 表面は平滑, 油球があり, 偽アミロイド.
- 担子器は棍棒形, 2・4 胞子性, 大きさ  $18-22 \times 7.5-9.0 \mu\text{m}$ .
- 縁シスチジアは紡錘形, 大きさ  $23-43 \times 9.0-12.5 \mu\text{m}$ .
- 側シスチジアは紡錘形, 大きさ  $23-38 \times 8.0-10 \mu\text{m}$ .
- 子実層托実質は散開形, 非アミロイド.
- 傘上表皮は柵状被, 菌糸の太さは  $3.0-7.5 \mu\text{m}$ , 表面には黄褐色～茶色の色素が凝着し, ときに大きい黄褐色の色素の固まりがある. ; 末端細胞の菌糸は円柱形でときに先端は三角状に細くなる.
- 傘実質は錯綜し, 非アミロイド.
- 柄上表皮は平行菌糸被, 平行に走る菌糸は太さ  $0.5-4 \mu\text{m}$ , 菌糸の先端はシスチジアとなって立ち上がり, それが固まって団子状となる; 柄シスチジアは円柱形～棍棒形～先が細くなる紡錘形, 大きさ  $37-42 \times 11-12 \mu\text{m}$ , 柄の上部では無色, 下部では黄褐色で壊れているように見える.
- 柄実質は偽アミロイド.
- クランプはすべての菌糸において見当たらない.

採集日 2006年7月3日、2007年6月30日

採集場所 神戸市須磨区

採集環境 カシ・コナラ樹下

採集者 幸徳伸也

同定者 幸徳伸也

標本番号 なし